ご購読ご希望の方へ

会員ログイン

こんにちは　as0537
有効期限　2021年0
ログアウト

ASEAN各国ニュース

各国のニュースを読むには
地図上の国旗をクリックしてくだ

@asean_pressさんのツイ

ASEAN経済通信
@asean_press
【最新フィリピン法務事情】大
「会社内紛争の仲裁に関するガ
案」
～2021年6月23日、フィリピン
（SEC）は、会社内紛争の仲裁
ライン草案を公表（その後パブ
実施）した。改正会社法第181
は、asean-economy.com/asea

ASEAN経済通信
@asean_press
【Jakarta letter】笹川平和財団

電子機器のリサイクルモデルを構築

アビヅがタイで、横展開も視野に

2021年09月06日　わが社のアジア戦略

リサイクル事業を手掛けるアビヅ（名古屋市）が、タイで電気・電子機器のリサイクルモデルを構築中だ。現在は実証事業を重ねているところで、将来はタイ国内や近隣諸国への横展開を視野に入れている。

東部チャチュンサオ県ゲートウェイシティ工業団地に設備を導入し、電気・電子機器廃棄物（WEEE）のリサイクルを始めた。取り扱いが最も多いのはコピー機で、このほかパソコンや扇風機、エアコンなどが持ち込まれるという。処理能力は１時間２～３トン程度ある。

事業は、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の委託をうけるかたちで展開しており、WEEEの破砕から選別までを自動化したタイ初の一貫リサイクルシステムを構築。同時に、タイに適した廃棄物処理のガイドラインを策定するためにも、知見を共有していく。

チャチュンサオ県で稼働中の実証設備

湿式の比重選別を活用

「日本は家電リサイクル法、小型家電リサイクル法など、リサイクルを推進・義務付ける取り組みが法律で定められているが、タイではそれに該当する法律がまだできていない。規制がないため適正な処理がされているとはいいがたい」（事業本部・営業部の赤池弘充氏）。

タイでは古くなった電気製品などはリユースされるケースが多いものの、まったく使われなくなったものは不適正に廃棄されてしまう。そのため焼却の際に有害スモッグが発生したり、水質・土壌汚染などのもととなっている。

アビヅの技術では、金属とプラスチックが複合的に混ざったもの、単一素材ではないものを分離分別して、それぞれ素材としてリサイクル。銅やステンレス、アルミ、貴金属といった有価物も効率よく回収することができる。

技術的な特徴としては、湿式の比重選別を活用していること。「水や特殊な薬品を混ぜたりすることで、それぞれ異なる比重液をつくって、素材ごとの比重差を利用して素材を選別する」（同）。それ以外にも、乾式の風力や振動を利用した選別装置を用いているという。今回の実証事業ではこれらの技術の一部をタイへ持ち込んでいる。

近隣国の市場もにらむ

実証事業の後はビジネスとして継続し、各地へも展開していく考え。マレーシアやインドネシアなどの市場もにらむ。

各国では所得水準が上がっているため、消費者の利用する電気・電子機器も良質のものが増えており、廃材としての価値も高まる。ビジネスとして展開するうえでは、集荷の手段や方法、処理した後のリサイクル及び適正処理などが課題になってくるという。

タイには日系メーカーが多く進出しているため、まずは日系各社に対して働きかけるなど、営業活動も積極化していく考えだ。(21/9/6)　(M)

実証事業のメンバー

(c)2013 - 2021 株式会社金融ファクシミリ新聞社